

平成 29 年（2017）の干支・御題菓子販売のお知らせ

株式会社虎屋（代表取締役社長：黒川光博、所在地：東京都港区赤坂 4-9-22）は、平成 29 年（2017）の干支「酉（とり）」と歌会始のお題「野（の）」にちなんだ新商品を期間限定で販売いたします。大切な方への御歳暮や年始のご挨拶に、この時季ならではの御菓子をご利用ください。

<平成29年（2017）は酉年>



干支羊羹『初鶏』

『初鶏』は、元旦、最初に鳴く鶏を意味します。黒煉羊羹にとさかを思わせる紅煉羊羹を組み合わせた意匠で、鶏が新たな年のはじまりを告げようとしているさまを表わしました。

【販売期間】2016 年 11 月 20 日～2017 年 1 月下旬(予定)

【販売店舗】全店

【価 格】ハーフサイズ 1,944 円（本体価格 1,800 円）
竹皮包 3,888 円（本体価格 3,600 円）



干支パッケージ 小形羊羹

『夜の梅』（小倉羊羹）、『おもかげ』（黒砂糖入羊羹）、『新緑』（抹茶入羊羹）の 3 種類を、干支「酉」のパッケージでご用意しました。

【販売期間】2016 年 11 月 20 日～2017 年 1 月上旬(予定)

【販売店舗】全店

【価 格】各 1 本 260 円（本体価格 240 円）
5 本入 1,404 円（本体価格 1,300 円）



『のどかなとき』桃山製 小倉餡入

鶏は、日本人にとって古くから身近な鳥の一つで、名前も庭の鳥の意に由来するとされます。夜明けを待つ鶏が穏やかに休んでいるさまを、桃山製でふっくらとかたどりしました。

【販売期間】2016 年 12 月 16 日～2017 年 1 月 15 日

【販売店舗】東京・京都地区の生菓子取扱店

【価 格】1 個 486 円（本体価格 450 円）

※「卵」を含む ※アルコール濃度 1%未満



『まるあみ』薯蕷製 白餡入

白い薯蕷饅頭に黄色い円を描き、目とくちばしの焼印を押して、ひよこの顔を表わしました。思わず笑みがこぼれるような愛らしさで、新しい年に幸せをもたらしてくれそうです。

【販売期間】2016 年 12 月 16 日～2017 年 1 月 15 日

【販売店舗】東京・京都地区の生菓子取扱店

【価 格】1 個 486 円（本体価格 450 円）

※「山芋」を含む

<平成 29 年（2017）歌会始のお題は「野（の）」>



御題羊羹 『明^あけゆ^のく野』

朝、東から昇りはじめた太陽の放つ光が、野原に満ちていく情景を表わしました。
黄、橙、緑の明るい色合いが、晴れやかな新春にふさわしい羊羹です。

【販売期間】2016 年 11 月 20 日～2017 年 1 月中旬(予定)
【販売店舗】全店
【価 格】ハーフサイズ 1,944 円（本体価格 1,800 円）
竹皮包 3,888 円（本体価格 3,600 円）



『野^ののこみち』 湿粉製

明るい黄色の花を咲かせる「たんぽぽ」は、春を代表する野花の一つです。
『野のこみち』は、一筋の道を挟んでたんぽぽが咲く、麗らかな野原を表わしました。

【販売期間】2016 年 12 月 16 日～2017 年 1 月 15 日
【販売店舗】生菓子取扱店全店
【価 格】1 個 454 円（本体価格 420 円）
※「小麦」を含む

「歌会始」について

人々が共通の題で歌を詠み、その歌を披講する「歌会」。その中でも、天皇によって開催されるものを「歌御会」といい、年の始めに開かれるものは「歌御会始」と呼ばれていました。大正 15 年（1926）以降は「歌会始」と改められ、今に至ります。平成 29 年（2017）の歌会始のお題は「野（の）」です。

「御題菓子」とは？

その年の歌会始の「お題」にちなみ、考案されたお菓子。明治 7 年（1874）、それまでは皇族・側近のみの参加であった歌会始に、国民の参加も認められるようになりました。こうして歌会始の「お題」が身近なものになってきたことも背景に、明治 21 年（1888）、京都の上菓子屋の有志が集まり、「お題」にちなむお菓子の展示を開催。これをきっかけに「御題菓子」をつくる店が増えていきました。当店で明治 40 年（1907）に、歌会始にちなんだお菓子をおつくりした記録があります。

取材に関する問い合わせ先

株式会社 虎屋 社長室 広報課 黒川さゆり

住所：東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階

電話：03-3408-4128 FAX：03-3408-6274 E-mail：kouhou@toraya-group.co.jp